

2024 年 12 月 9 日

東京海上日動システムズ株式会社

2024 年度 IT 賞の受賞

東京海上日動システムズ株式会社(代表取締役社長 原田 晋)は、公営社団法人企業情報化協会(以下「IT 協会」)主催の 2024 年度(第 42 回)IT 賞において、「生成 AI を活用した IT 業務変革の取り組み」をテーマに応募し、「マネジメント領域」にて IT 賞を受賞しました。

1. IT 賞について

わが国の産業界ならびに行政機関などの業務における事業創造、効果的ビジネスモデルの構築・促進、生産性向上等、“IT を高度に活用したビジネス革新”に顕著な努力を払い成果を挙げたと認めうる企業、団体、機関および個人に対して、公益社団法人企業情報化協会 が授与するものです。昭和 58 年の第 1 回より今回で 42 回目の開催 となります。



【ご参考】IT 協会 WEB サイト <https://jiit.or.jp/awards/it/>

2. 当社の具体的な取組

当社では、IT 業務の変革を目指し、生成 AI を活用してコード生成やテスト自動化を行い、開発工程の工数削減や生産性向上を図ってきました。特にプログラミング工程の効率化を重視し、生成 AI によるコード生成の PoC(概念実証)を行い、実際の開発案件への適用をシミュレーションしてきました。

この取り組みの解決すべき課題は、開発工程の工数削減、生産性向上、IT 人材の育成の 3 点でしたが、生成 AI を活用することで、手動コーディング時間を削減し、新規開発で平均 40%、仕様変更で約 90%の生産性向上を達成し、結果として、工数削減、生産性向上、品質向上、人材育成などの成果を得ることができました。

IT 業務の効率化と革新の基盤を築くことができましたので、次のステップとして規模を拡張して PoC を進める計画です。今後、IT 人材の育成や大規模言語モデルの活用を含む包括的な戦略の一環として開発協力会社のプログラマーの皆さんと共に生成 AI を活用し、生産性とモチベーションの高い集団を目指して参ります。

以上